



令和5年度 迫高祭の様子

令和5年10月20日(金)午後には校内公開、21日(土)午前には、一般公開の2日間、本校の文化祭である「迫高祭」が開催されました。

20日の校内公開では、各クラスで企画した催事が盛況でした。ストラックアウトや宝釣り、射的、くじびきなど、お祭りの縁日を思い出すような楽しさがありました。中には1等賞の景品が、「すごく美味しいと大評判の林檎」という大盤振る舞いもありました。

なかには連続して1等を引き当ててしまう強者もいて、大いに盛り上がっていました。(教職員もかなり本気で楽しんでいました..)

21日の一般公開はあいにくの悪天候でしたが、保護者様を中心に多くの方々に来校していただきました。

一般公開は、体育館でのステージ発表をメインとし、以下の内容で行いました。

- ①総合的な探究の学習の中間発表
- ②1学年防災学習発表
- ③生徒会役員認証式
- ④音楽選択者による合唱と三味線の合奏、
音楽選択者と教職員による、校歌の混声四部合唱、
- ⑤図書委員による大型紙芝居の上演、
- ⑥学芸部神楽班による早池峰大償神楽の演舞
- ⑦大迫音頭の輪踊り(大迫高校同窓会協賛企画)



コロナ禍により、歌う機会がほとんどなかった校歌を、音楽選択生徒と教職員による混声四部合唱でお披露目することができたことは、非常に有意義でした。(教職員も、音楽の授業に参加し、生徒と一緒に合唱練習をおこなっていました。)

図書委員による大型紙芝居の上演は、昔懐かしさを感じる拍子木の音から始まりました。地域に伝わる昔話を中心に、丁寧に語ってもらいました。



学芸部神楽班では、「竜天(りゅうでん)」を発表してくれました。2人の舞手が息を合わせて巧みに舞う様子に、思わず見とれてしまいました。

最後は、「大迫音頭」を生徒・教職員・飛び入り参加のご来賓と保護者様で踊りました。踊り方があやふやでも、楽しんで踊ることが一番！最後の方は、みんなが笑顔で踊っていました。

大迫音頭にあわせて浴衣姿で踊ってくれた生徒もあり、場が艶やかになりました。また、大迫音頭の歌も民謡が得意な3年生が朗々と歌い上げました。

地域との繋がりを大切にする本校にとって、一番ふさわしいフィナーレだったと思います。



大迫高校 公式 Note ご覧ください

岩手県立の高等学校は、「Note」に各高校それぞれの公式アカウントを持っています。「Note」は文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。大迫高校の「Note」公式アカウントは下記のアドレスとなります。



<https://ooh-hs.note.jp/>

スマートフォンやタブレットをご利用の方は、右上のQRコードを読み取っていただければ、「Note」の大迫高校公式サイトにつながります。

こちらでは、大迫高校の生徒の様子や情報を随時更新・掲載しています。また、個人で Note のアカウントをお持ちの方は、「いいね♡」「フォロー登録」も可能になっていますのでご利用ください。